

公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩  
平成30年度 事業報告書

1. 事業計画名	第 I 事業 大学間連携事業				
2. 事業名	単位互換(産学連携科目)				
3. 事業趣旨	<p>ネットワーク多摩に加盟する大学・短大に所属する学生が、他の大学・短大の科目を履修し、そこで取得した単位が自大学の単位として認定されされる制度である。 本年度はこれまでの「読売新聞社提携講座(前期：明星大学、後期：中央大学)」から、各加盟大学の授業科目において、単位互換の要件を有する講座を学生が相互に受講する形に切り替えて実施した。</p>				
4. 事業内容・実績	<p><b>【実施内容】</b></p> <p>2018年度は、4大学で単位互換講座が提供され、講座数は41であった。</p> <p>多摩大学：2講座(春期:1、秋期:1)          玉川大学：5講座(春期:2、秋期:3)          帝京大学：14講座(春期:6、秋期:8)          明星大学：20講座(前期:11、後期:9)</p> <p><b>【履修状況】</b></p> <p>前期：明星大学にて1名(実践女子大学生)          後期：多摩大学にて1名(実践女子大学生)          後期：玉川大学にて1名(実践女子大学生)</p>				
5. 評価	<p>学生にとっては、所属大学(または自宅)から単位互換開講大学への交通費用と時間ロス(単位互換授業の前後の授業が受けられない)のマイナス要因が避けられない根本的課題がある。こうした問題解決のため、近隣大学間で単位互換授業の提携している大学も少なくな          い。          引き続き、加盟大学へはより多くの単位互換授業の提供を依頼し、各大学生への周知を徹底していく。</p>				
6. 執行体制	大学部会、加盟大学担当者、事務局				
7. 事業収支(単位：円)	\	計画	実績	差異	備考
	収入	0	0	0	
	支出	60,000	18,586	△ 41,414	
	収支	△ 60,000	△ 18,586	41,414	

公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩  
平成30年度 事業報告書

1. 事業計画名	第I事業 大学間連携事業				
2. 事業名	多摩未来奨学金				
3. 事業趣旨	<p>多摩未来奨学金は、多摩地域の企業・団体等からの寄附金を原資とし、加盟大学・短期大学等の学生を対象とした給付型の奨学金制度で、ネットワーク多摩の主力事業のひとつである。全国的に稀有な事例として大きく注目を受け、文部科学省からも評価されて補助金の対象となっている。</p> <p>奨学生はネットワーク多摩の地域活性化事業への参加を通して、多摩地域の企業・団体等に接することからキャリア教育の一環にもなりスキルアップが図られる。また、大学にとっても有為な人材を社会に送り出す手立てとなることを目指している。</p>				
4. 事業内容・実績	<p>奨学生5期生(2018年度)からは“奨学金”が示すように経済的修学支援(家計収入600万以下を目安)に力点を置きつつ、成績優秀者を採用条件(GPA3.0以上)に募集内容を変更した。これまでの制度で負担となっていた「プロジェクト活動」を止め、下述するネットワーク多摩のイベントに参加させ、2019年1月26日に修了式を行った。</p> <p>■ 多摩未来奨学生5期生(7大学15名) 白梅学園大学(1)、創価大学(6)、大妻女子大学(2)、法政大学(1)、帝京大学(3)、多摩大学(1)、デジタルハリウッド大学(1)</p> <p>【奨学生の参加イベント】 &lt;2018&gt; 6/9 玉川大学・「多摩未来奨学金交付式」、「多摩未来創造フォーラム」 8/24 昭和記念公園・「多摩未来奨学生とのつどい」で寄附企業との交流 9/8 帝京大学・「まちづくり・ものづくりコンペティション2018」選考会 12/15 帝京大学・「まちづくり・ものづくりコンペティション2018」本選 &lt;2019&gt; 1/26 明星大学・「奨学生5期生修了式」、「ねっ多摩フェス2019(1回目)」 3/16 明星大学・「ねっ多摩フェス2019(2回目)」</p> <p>【募集から採用までの経緯】 応募期間： 2018年2月1日～5月7日 応募締切： 2018年5月7日(応募学生数：8大学23名) 小論文審査： 2018年5月9日～5月19日(小論文合格：19名) 面接審査： 2018年5月26日(面接合格：16名) 採用決定： 2018年5月29日(採用辞退：1名) 審査組織： 多摩未来奨学金審査委員会(12名)</p>				
5. 評価	<p>奨学生の基本的資質としてGPA3.0以上とする条件は、前述したイベントでの活動から考察すると妥当と判断される。</p> <p>奨学生5期生募集に際しては募集の周知徹底が不足し、結果として応募大学、応募人数共に少なかった点が反省される。こうした対応策として、奨学金担当者を含む大学部会を開催(2018.9.27)して十分な周知を行った。応募者増加のため、2019年度の募集要件について募集資格に短期大学および高等専門学校を追加し、加盟大学と非加盟大学について金額差を付ける方針を説明した。</p>				
6. 執行体制	制度改定：多摩未来奨学金委員会(H28～H29) 事務局				
7. 事業収支(単位：円)		計画	実績	差額	備考
	繰越金	6,383,279	6,383,279	0	
	収入	8,451,000	7,430,000	△ 1,021,000	補助金：1,500,000円
	支出	8,451,000	4,851,209	△ 3,599,791	5期生 奨学金給付額4,500,000円
	合計	6,383,279	8,962,070	2,578,791	

**公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩**  
**平成30年度 事業報告書**

1. 事業計画名	第 I 事業 大学間連携事業				
2. 事業名	就職支援事業				
3. 事業趣旨	大学の未内定卒業生が社会問題となる中、地域中小企業における大学卒業生の採用は困難な状況にある。この就職ミスマッチ問題を解消するために、就職説明会の実施、インターンシップ支援やワークプレイスメントの推進を行う。				
4. 事業内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆インターンシップ支援 社会へ出ることの意義を基軸とした授業及び就業体験の実施</li> <li>◆ワークプレイスメントの実施 学生情報センターと連携して有償型就業体験制度の実施。</li> <li>◆外国人留学生支援ガイダンス開催 日本で就職を希望する留学生に母国と日本の就職活動の違いを文化的に捉え、日本の就職活動を理解いただき、内定獲得に寄与することを目的とする。 主催：関東経済産業局 後援：公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩 開催日時：10月17日（水） 16:30～18:00 開催場所：帝京大学 参加人数：28名</li> <li>◆「ねっ多摩フェス」開催 多摩地域の学生へ地元企業を知ってもらう出会いの場としてフェス形式でブースを設置し、学生も企業も私服で気楽に何でも話し合える企画。 最終的には多摩地域の人材採用に繋げていくことを目的とする。 開催日時：①1月26日 10:00～13:00 ②3月16日（土） 10:00～13:00 開催場所：明星大学 参加学生：①1月26日：52名 参加企業：①1月26日：36社 ②3月16日：56名 ②3月16日：36社</li> <li>◆就職説明会の周知 (公財)東京しごと財団開催の就職説明会への後援の実施 4月19日 京王プラザホテル八王子 5月11日 京王プラザホテル多摩 7月 5日 立川グランドホテル 9月 4日 京王プラザホテル八王子 2月 4日 立川グランドホテル</li> </ul>				
5. 評価	新卒の就職環境は、改善されてきているものの、地域企業における採用状況は深刻な問題であり、就職支援事業としての活動は十分であるといえない。 多摩未来奨学金などにより繋がりのできた地域企業の採用情報の収集と大学等との情報共有によるマッチング、地域企業へのインターンシップ等への取り組みなどを進めることで事業の活性化を図っていく必要がある。				
6. 執行体制	(株)ナジック・アイ・サポート、事務局				
7. 事業収支 (単位:円)	計画	実績	差異	備考	
	収入	0	0	0	
	支出	148,000	147,453	△ 547	
	収支	△ 148,000	△ 147,453	547	

公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩  
平成30年度 事業報告書

1. 事業計画名	第 I 事業 大学間連携事業				
2. 事業名	学生生活支援事業				
3. 事業趣旨	<p>新入生・在校生を対象とした下記事業をネットワーク多摩ホームページ上で告知。加盟大学からのご要請に応じてオープンキャンパス開催時や合格発表後の時期に合わせて、学内に相談ブースを設営。住まい・アルバイト・多摩地域の生活情報等を提供する。</p>				
4. 事業内容・実績	<p>一人暮らしのトータルケア事業</p> <p>◆事業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 住居情報の提供</li> <li>2. 加盟行政が提供する地域生活情報</li> <li>3. 学校情報やアルバイトのアドバイス</li> </ol> <p>◆実績</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①住居情報の提供 決定件数・・・16大学193件（2019年3月31日現在）</li> <li>②地域生活情報、学校やアルバイト情報の提供 一人暮らし学内相談会・・・5大学延べ79回</li> </ol>				
5. 評価	<p>昨年度に比べ、加盟大学ごとにばらつきはあるものの、東京23区の大学定員の抑制の影響もあり、この支援事業の利用学生数は全体的に微増。 今後、18歳人口の減少と各大学の寮の整備状況により、利用学生数も減少することが想定されるが、まだ相当数のニーズはあるため継続すべき事業と思慮する。</p>				
6. 執行体制	<p>(株)学生情報センター、事務局</p>				
7. 事業収支（単位：円）	\	計画	実績	差異	備考
	収入	0	0	0	
	支出	7,000	0	△ 7,000	
	収支	△ 7,000	0	7,000	

公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩  
平成30年度 事業報告書

1. 事業計画名	第I事業 大学間連携事業				
2. 事業名	第5回多摩の学生まちづくり・ものづくりコンペティション2018				
3. 事業趣旨	地域コミュニティや企業、商店街など多摩地域が元気で新たなあり方を求める。多摩の魅力と課題をフィールドワークにより得たデータを分析し、提案発表する学生のまちづくり・ものづくりコンペ。その研究成果を行政や企業・団体等の前で発表し、優秀な提案には賞を贈る。				
4. 事業内容・実績	<p>◆参加資格 教員の指導下で活動するゼミ団体、個人グループ。          ・申込：11大学33団体          ・応募テーマ：多摩の将来！学生達の創意工夫大発信</p> <p>◆選考会          9月8日（土）帝京大学八王子キャンパスにて4教室（各26名）に分け、選考会を行った。審査委員（行政8名、企業16名、大学教授2名）結果6団体が本選に出場。発表者を含む約250人が参加した。</p> <p>◆本選          12月15日（土）帝京大学八王子キャンパス小ホールにて開催。審査委員は経産省、大学教授、自治体、企業役員ら12名。学生・教員を含む約150人が参加した。</p> <p>・最優秀賞 創価大学 安田ゼミ Team owl（八王子市）          「多摩に住む発達障害者が活き活きと働けるまちづくり」</p> <p>・優秀賞 専修大学 大崎ゼミ（多摩市）          「永山団地アクティブ大作戦」          杏林大学 久野ゼミ 多摩OMOTENASHI班（多摩地区）          「産学連携YOUKOSO NIPPON Project」</p> <p>・奨励賞 帝京大学 湯川ゼミ 子育て班（立川市）          「みんなでつくろう！子育てタウン」          杏林大学 久野ゼミ 八王子YUKATA班（八王子市）          「COOL HACHIOJI YUKATA FESTIVAL」          中央大学 根本ゼミ（福生市）          「福祉バスが運ぶ知識と記憶」</p>				
5. 評価	過去最多のエントリー数（11大学33団体）で行い、選考会・本選を行った。学生の視点研究でのまちづくりへの発表には非常に興味深くレベルの高い有意義なコンペティションであった。また、今回から当コンペティションスポンサー企業のブース出展を同時に行い、日本電子工業株式会社、エム・ケー株式会社、京西テクノス株式会社、東洋システム株式会社、株式会社学生情報センター、アトセンス株式会社の合計6社と学生の交流を実施。今後、より多くの大学から参加を促し、多摩地域活性化に貢献できるよう成長させていきたい。				
6. 執行体制	ネットワーク多摩事務局				
7. 事業収支（単位：円）		計画	実績	差異	備考
	収入	1,400,000	800,000	△ 600,000	
	支出	2,070,000	628,111	△ 1,441,889	
	収支	△ 670,000	171,889	841,889	

公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩  
平成30年度 事業報告書

1. 事業計画名	第Ⅰ事業 大学間連携事業				
2. 事業名	全国大学コンソーシアムの展開				
3. 事業趣旨	全国大学コンソーシアム協議会の研究フォーラムに参加し、交流、情報交換、参考事例の収集を行い、本法人の周知と事業活動を紹介する。				
4. 事業内容・実績	<p>◆全国大学コンソーシアム協議会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年5月19日 第1回運営委員会（大学コンソーシアム京都）</li> <li>・平成30年9月1日、2日 第15回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム （公立ほこだて未来大学） テーマ「大学連携による学生と地域のエンパワーメント」 プレイベント：「コンソーシアム運営における課題とその克服に向けて」 ～課題から紐解くコンソーシアム組織のあり方～ 基 調 講 演：「大学連携による学生と地域のエンパワーメント」 ～京都アライアンスの経験をふまえて～ 白石克孝氏（龍谷大学政策学部教授） シンポジウム：「大学連携による学生と地域のエンパワーメント」 ～未来の地域づくりを目指して～ 美馬のゆり氏（公立ほこだて未来大学教授） 高橋和将氏（函館大学地域連携コーディネーター） 古館葵氏（ハコレコドットコム株式会社） 文教行政報告：「高等教育政策の動向について」 三浦和幸氏（文部科学省高等教育局大学振興課長） 分科会1. 「地域ぐるみで行う子ども子育て」 2. 「まちづくりは人づくりから」 3. 「地域と学生が交わり育つ暮らしのカタチを考える」 4. 「小規模大学コンソーシアムだからできるエンパワーメント事業」 研究フォーラムへは全国から215名、分科会へは130名が参加した。 ネットワーク多摩では、第2分科会を担当した。（参加者27名） 報告者：細野助博氏（専務理事 中央大学教授） 西浦定継氏（常務理事 明星大学教授） 糸久正人氏（常務理事 法政大学准教授） コーディネーター：細野助博（専務理事 中央大学教授）</li> <li>・平成30年9月1日 総会（公立ほこだて未来大学）</li> <li>・平成30年9月2日 第2回運営委員会（公立ほこだて未来大学）</li> </ul>				
5. 評価	プレイベントで行ったコンソーシアムが今後直面する課題を分科会で取り上げ、全国のコンソーシアムが情報共有し役立てていきたい。 今後も本法人の取り組みの紹介や、全国の大学コンソーシアムにおける事例の情報収集を行い、本法人の活動に活かしていく。				
6. 執行体制	全国大学コンソーシアム協議会幹事(小川会長)、運営委員(森岡事務局長)、事務局				
7. 事業収支(単位:円)	計画	実績	差異	備考	
	収入	150,000	165,000	15,000	全国大学コンソーシアム協議会 交通費補助
	支出	535,000	465,849	△ 69,151	
	収支	△ 385,000	△ 300,849	84,151	

**公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩**  
**平成30年度 事業報告書**

1. 事業計画名	第 I 事業 大学間連携事業				
2. 事業名	多摩未来創造フォーラム (第8回多摩地域大学理事長・学長会議)				
3. 事業趣旨	第8回目の開催となる多摩地域の理事長・学長会議・多摩未来創造フォーラムのテーマを「多摩地域グローバル化の現状と将来」として開催した。今後、多摩地域に根付く産業、教育、行政機関が一体となり、多摩地域に集積された知を最大限に活用して、将来の多摩地域を探る機会とするものである。				
4. 事業内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆会議名 多摩未来創造フォーラム～多摩地域グローバル化の現状と将来～ 第8回多摩地域大学理事長・学長会議</li> <li>◆開催日 平成30年6月9日（土） 13:00～18:00（玉川大学大学教育棟2014）</li> <li>◆参加来場者 255名</li> <li>◆基調講演 小池百合子氏（東京都知事） 「新しい東京」の実現に向けた多摩地域の可能性 ～2020年のその先を見据えて～</li> <li>◆パネルディスカッション「産官学連携で実現する多摩の未来」 コーディネーター：細野助博氏（ネットワーク多摩専務理事・中央大学教授） パネリスト：馬場善久氏（創価大学学長） 沖永佳史氏（帝京大学理事長・学長） 畑山浩明氏（桜美林大学学長） 清水庄平氏（立川市長） 石坂丈一氏（町田市長） 成瀬直人氏（株式会社いなげや代表取締役社長） 堤 香苗氏（株式会社キャリア・맘代表取締役社長） 臼井 努 氏（京西テクノス株式会社代表取締役社長）</li> </ul>				
5. 評価	基調講演では、東京都知事小池百合子氏にご登壇頂き「新しい東京」の実現に向けた多摩地域の可能性～2020年の先を見据えて～と題しまして講演を行った。講演では都民ファーストを更に強化し、多摩地域の現状、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けての東京都と多摩地域のありかたについての内容であった。当日は、小池東京都知事の講演を聞こうと約255名の来場があり、パネルディスカッションでは多摩地域の産・官・学それぞれのトップをパネリストに迎えて、多摩地域の現状と課題について議論を交わした。				
6. 執行体制	ネットワーク多摩事務局				
7. 事業収支（単位：円）		計画	実績	差異	備考
	収入	200,000	0	△ 200,000	
	支出	661,000	360,324	△ 300,676	
	収支	△ 461,000	△ 360,324	100,676	

**公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩**  
**平成30年度 事業報告書**

1. 事業計画名	第Ⅱ事業 地域人材育成と教育力アップ事業				
2. 事業名	知のミュージアム 多摩・武蔵野検定				
3. 事業趣旨	多摩・武蔵野検定(タマケン)は多摩地域の特徴・魅力を再発見し、郷土愛を育み、まちづくりにつなげる人材を醸成することを目的にしている。タマケンの実施と併せて、次年度の運営方針の見直しを行った。				
4. 事業内容・実績	<p>立川市の公立小中学校でジュニア級(小学校5年生)、4級(中学校1年生)の検定を実施した。採点の正確さと効率化のため、回答にはマークシートとプログラムによる自動採点方式を採用した。2018年4月から12月までの実施内容は以下の通りである。</p> <p><b>【小学校5年生ジュニア級】</b>          設置学校数：19校(学級数：45組、在籍者数：1,437人&lt;H30.5.1現在&gt;)          実施完了数：19校(受験者数：1,406人 ゴールド賞：770人&lt;55%&gt;          シルバー賞：622人&lt;44%&gt; ブロンズ賞：14人&lt;1%&gt;)</p> <p>未完了学校：0校          実施せず：0校          評価結果： 合否判定なし          ブロンズ賞(0～40点)、シルバー賞(41～70点)、          ゴールド賞(71～100点)の「入賞カード」を交付</p> <p><b>【中学校1年生4級】</b>          設置学校数：9校(学級数：38組、在籍者数：1,211人&lt;H30.5.1現在&gt;)          実施完了数：5校(受験者数：561人 合格：405人&lt;72%&gt; 不合格：156人&lt;28%&gt;)          未完了学校：0校          実施せず：4校          評価結果： 合格者(60点以上)に「4級合格証」を交付</p> <p>解答回収後の結果返信までの所要日数は2～5日</p>				
5. 評価	立川市で実施したタマケン4級およびジュニア級については、教育委員会と十分な情報交換を保ち、出題問題を精査した結果、実施に伴うクレームは1件もなかった。また、マークシートを採用したことで正解判定作業が非常に効率的となった。2018年度はすでに会場検定を休止している。2019年度の実施に向けて、時代の変化と共に次のステップへ進むため、立川市での実施を基本路線に、「多摩シビックプライド」に名称変更を行い、多摩地域の30市町村の公立小中学校へ問題を受講して頂き、各市町村の活性化を担う人材づくりを目指す。				
6. 執行体制	主催：ネットワーク多摩 後援：東京都、多摩30市町村 協力：立川市教育委員会				
7. 事業収支(単位：円)		計画	実績	差異	備考
	収入	300,000	479	△ 299,521	
	支出	214,500	40,627	△ 173,873	
	収支	85,500	△ 40,148	△ 125,648	



**公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩**  
**平成30年度 事業報告書**

1. 事業計画名	第Ⅱ事業 地域人材育成と教育力アップ事業				
2. 事業名	多摩地域行政連携事業「政策スクール」				
3. 事業趣旨	<p>高齢化と人口減少が急速に進むと財政状況が悪化し、行政サービス水準を下げることになる。このような趨勢から多摩地域は例外ではない。</p> <p>既に、都心からの距離に応じて、高齢化と人口減少が進んでいる。</p> <p>この状況に対する抜本的対策と戦略は、「コンパクトシティ」と「健全な高齢者育成」戦略の取り組みで成功をおさめる富山市は注目に値する。この取り組みを先頭に立って推進されている森市長に「ローカルガバナンスの神髄」に迫るご講演と参加者との議論を展開していただき、各行政の取り組みに対する参考にご供することが目的である。</p>				
4. 事業内容・実績	<p><b>【開催日】</b> 11月28日(水) 中央大学多摩キャンパス</p> <p><b>【第1部】</b>          政策スクール (13:00-14:50)          「人口減少時代を乗り切るためのコンパクトシティ戦略」          講演者: 森雅志 氏 (富山市長)          対象: 行政職員招待者          共催: (公社)学術・文化・産業ネットワーク多摩          教室: 1406号室 (1号館4階)</p> <p>加盟行政を中心にまちづくり、都市計画、健康福祉部門の若手職員を中心に30名前後を募集し、森市長の1時間のご講演後、30分程度の質疑応答を行う。          各受講者は、帰庁後指定フォーマットに従ってリアクションペーパーを作成しネットワーク多摩事務局に提出する。</p> <p><b>【第2部】</b>          特殊講義 (15:00-16:30)          「首長が語るローカルガバナンスの神髄」          講演者: 森雅志 氏 (富山市長)          対象: 特殊講義履修者、一般市民、市議会議員、          企業: 行政職員等、当日聴講可          教室: 8301号室 (8号館3階)</p> <p>総合政策学部でオープン科目として他学部にも公開しているオムニバス講座。白門市長会の後援で「行政職志望学生」を主とした対象として開講している。多摩地域の首長や議員にも登壇をお願いしている。今回は一般市民や行政職員、企業関係者にも公開する。</p>				
5. 執行体制	主催: 中央大学 運営: ネットワーク多摩				
6. 事業収支 (単位: 円)		計画	実績	差異	備考
	収入	0	0	0	
	支出	277,000	16,227	△ 260,773	
	収支	△ 277,000	△ 16,227	260,773	

公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩  
平成30年度 事業報告書

1. 事業計画名	第Ⅱ事業 地域人材育成と教育力アップ事業				
2. 事業名	新任大学教員研修				
3. 事業趣旨	<p>大学入試改革と呼応して、従来は一方的な知識の伝達・注入に偏りがちだった高校や大学での学びに「生徒・学生が主体性を持って多様な人々と協力して問題を発見し解を見出していくアクティブ・ラーニング」の導入が求められています。本セミナーでは、参加者及び講師との交流を通してアクティブ・ラーニングを体験的に学び、それぞれの教育実践につなげることを目的としている。</p>				
4. 事業内容・実績	<p>◆新任教員研修セミナー</p> <p>実施日：平成30年9月3日（月）～5日（水） 場 所：大学セミナーハウス</p> <p>アイスブレイク：「アクティブ・ラーニングに向けた関係性作り」 SPAファシリテーター 佐藤順子氏</p> <p>アクティブ・ラーニング講座① 「多様性が活きる学びを目指して」 コーディネーター：明星大学副学長・人文学部教授 佐藤滋夫氏</p> <p>アクティブ・ラーニング講座② 「アクティブ・ラーニングの基礎理論と実際」 コーディネーター：明星大学明星教育センター特任准教授 福山佑樹氏</p> <p>ワークショップ1 「ティーチング・ポートフォリオチャート体験WS」 コーディネーター：芝浦工業大学教授 榊原暢久氏</p> <p>ワークショップ2 「相互理解を深め、人間関係を築くコミュニケーション・ワーク」 コーディネーター：東京女子医科大学看護学部准教授 諏訪茂樹氏</p> <p>ワークショップ3 「困難を抱える学生の理解のために—合理的配慮を踏まえて—」 コーディネーター：明星学苑企画部課長 村山光子氏</p> <p>参加者：15大学 27名</p>				
5. 評価	<p>各大学の新任教員の方が、日々の授業で感じている問題点や、それらに対する授業内での解決方法や工夫などが共有できた。 大学における様々な教育実践の形を学ぶことができた。特に学生への学習指導の新しい取組み、及び「従来型」の大学教育の課題と利点について考える機会となった。</p>				
6. 執行体制	<p>主催：公益財団法人大学セミナーハウス 共催：公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩</p>				
7. 事業収支（単位：円）	\	計画	実績	差異	備考
	収入	0	0	0	
	支出	0	0	0	
	収支	0	0	0	